

みずほCustomer Desk Report 2019/06/20号(As of 2019/06/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.57
TKY 9:00AM	108.58	1.1198	121.57	GBP/USD	1.2565
SYD-NY High	108.61	1.1255	121.66	AUD/USD	0.6881
SYD-NY Low	107.90	1.1188	121.19		
NY 5:00 PM	108.10	1.1228	121.39		
NY DOW	26,504.00	38.46	日本2年債	-0.2100	▲1.00bp
NASDAQ	7,987.32	33.44	日本10年債	-0.1400	▲1.00bp
S&P	2,926.46	8.71	米国2年債	1.7392	▲12.41bp
日経平均	21,333.87	361.16	米国5年債	1.7639	▲6.61bp
TOPIX	1,555.27	26.60	米国10年債	2.0276	▲2.94bp
ソコ日経先物	21,310	100	独10年債	-0.2900	3.00bp
ロンドンFT	7,403.54	▲39.50	英10年債	0.8640	5.90bp
DAX	12,308.53	▲23.22	豪10年債	1.3450	▲2.00bp
ハンセン指数	28,202.14	703.37	USDJPY 1M Vol	5.95	▲0.25%
上海総合	2,917.80	27.64	USDJPY 3M Vol	6.35	▲0.02%
NY金	1,348.80	▲1.90	USDJPY 6M Vol	6.65	▲0.07%
WTI	53.97	▲0.14	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	175.43	▲0.66	EURJPY 3M Vol	6.58	▲0.02%
ドルインデックス	97.24	▲0.41	EURJPY 6M Vol	7.04	0.08%

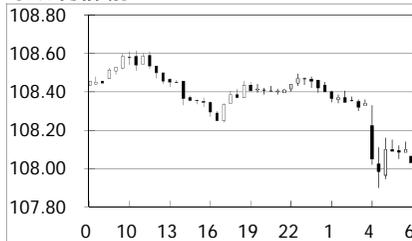
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月19日	08:50	日 貿易収支	5月 -¥967.1b	-¥1200.0b
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	5月 -0.1%/1.9%	0.1%/2.1%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/2%	0.3%/2%
	23:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
6月20日	03:00	米 FOMC政策金利	- 2.25%-2.5%	2.25%-2.5%
	03:30	米 FOMC	「FOMC参加者の多くが利下げ根拠強まっていると認識」	

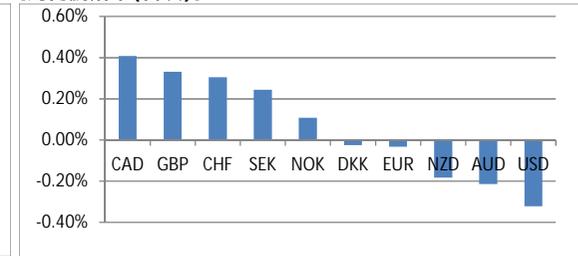
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月20日	11:35	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	5月 -0.4%/2.5%	-0.2%/4.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 220k	222k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.90-108.60	1.1200-1.1250	121.20-121.70

【マーケットインプレッション】

昨日のアジア時間のドル円は、日経平均株価の大幅上昇を受け買いが先行し、一時108.62円近辺まで上昇したが、「ロシア製S400地对空ミサイルの購入を巡り、トランプ米大統領がトルコに対して新たな制裁を検討」との報道を受け、トルコリラ円などの下げにつれて伸び悩む展開となった。海外時間に入り、注目のFOMCでは市場の予想通りFFレイト誘導目標を2.25-2.50%に据え置いたものの、声明では「委員会は(利上げに)忍耐強くなれる」との表現を削除し、「今後のデータを監視し景気拡大を維持するため適切に行動する」との文言に置き換えられた。パウエルFRB議長との定例記者会見を受け、米早期利下げ観測が高まると、一時107.90円と安値を付けたが、下値では下げ渋り結局108.10円に値を戻してクローズしている。FOMCを通過し、7月利下げの事前コンセンサスの確度が高まる結果となっているが、107円台での底堅い反発を昨晩は再度見せられた事で、本日のドル円については底堅い動きを想定したい。海外時間の米株高、金利低下とも相俟って日経平均も上昇が想定されよう。5・10日という日柄に加え、日銀金融政策決定会合を控え、ここのところの各先進国のハト派寄りな動きに、日銀への追加緩和期待もドル円をサポートするものと見込む。

東京	東京時間のドル円は108.58レベルでオープン。今月末に行われるG20にて米中首脳会談が開かれる見通しとなったことを好感し、日経平均株価が前日比300円超の上昇となる中、ドル円も底堅い推移。しかしFOMCを控える中、上値は重く徐々に売りに押され、そのまま安値圏の108.30レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.30レベルでオープン。米FOMCを控え、金利がやや上昇する中、円売りが優勢。108.45円まで上昇し、108.41レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2559レベルでオープン。英CPIはやや鈍化したものの、市場予想と概ね一致し反応は限定的。前日より、「英労働党・スコット党首が2度目の国民投票実施への支持を表明する見通し」と報道が出ており、ポンド買いを後押し。1.2589まで買われ、1.2582レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリ- 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	NY市場のドル円は108.41レベルでオープン。FOMC結果発表を控え様子見ムードが広がる中、朝方から午後にかけては108.40近辺で小動き。注目のFOMC結果発表は、予想通り政策金利は据え置かれたものの、フラットセントルズ連銀総裁が利下げを支持したことが伝わったほか、声明文から政策金利調整に臨む姿勢にあたり「辛抱強く」の文言が削除され、代わりに「経済見通しへの不確実性の高まりに対し「適切に行動」との文言が追加された。FRBが前回のFOMCからハト派色を強めていたとの見方からドル売りが強まり、一時108円を割り込み107.90を付ける。しかし、6月7日安値(107.88)等の水準がサポートとして意識される中、その後ドルが買い戻され、108円台を回復。終盤は108.10近辺で小動きとなり、そのまま108.10レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、FOMCを控えて動意薄となる中、1.1200付近の狭いレンジで推移し、1.1204レベルでNYオープン。朝方はユーロやポンド等の欧州通貨中心にドルの調整売りが進んだことから1.1220まで上昇。その後、FOMC結果発表後にドル売りが加速したことから1.1255まで急上昇。しかし、ユーロ圏でも利下げ観測が広まっている中、更なる上値追いは限定され、1.1220まで反落する。その後は1.1230近辺で小動きとなり、結局、1.1228レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・玉井